

マッド・キラー／鮮血のしぶき（1988）

PARTY LINE

メディア 映画
ジャンル ホラー サスペンス
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 95分
初公開日 1989/04/08
公開情報 ヒューマックス

【解説】
電話回線を利用したデート・システム、パーティ・ラインで誘い出した男女を次々と殺害してゆく姉弟と、彼らを追う女検事補とはぐれ刑事のコンビを描いたサスペンス。お見事なくらい新趣向のない作品で、殺害の手口や動機、犯人の異常性などの描き方があまりに凡庸で呆れ返る。パーティ・ラインというシステムを話に取り込んだことだけが公開当時は新しかったが、テレクラやツー・ショット・ダイヤルが流行りの今の日本ではすでに古臭く感じるし、実際にそれらを仲介として多数の事件が起きていることを考えれば、現実が物語をすでに凌駕している。最新の風俗を取り入れた物は長持ちしないという見本のような作品と言えるだろう。長持ちしなかったかつてのアイドル、L・ギャレットがマザコンでシスコンの殺人者を演じていて哀れだ。

【クレジット】

監督	ウィリアム・ウェッブ	William Webb
製作	カート・アンダーソン	Kurt Anderson
	トム・バーンズ [製作]	
	ウィリアム・ウェッブ	William Webb
原案	トム・バーンズ [製作]	
脚本	リチャード・ブランドス	Richard Brandes
撮影	ジョン・ヒューネック	John Huneck
音楽	サム・ソレンセン	
出演	リチャード・ハッチ	Richard Hatch
	レイフ・ギャレット	Leif Garrett
	ショーン・ウェザリー	Shawn Weatherly
	グレタ・ブラックバーン	Greta Blackburn
	リチャード・ラウンドトゥリー	Richard Roundtree
	ジェームズ・オサリヴァン	James O'Sullivan
	テレンス・マクガヴァン	Terence McGovern
	カレン・メイヨ＝チャンドラー	Karen Mayo-Chandler
	パトリシア・パッツ	Patricia Patts